

# 環境調和創造企業を めざして

## ごあいさつ

環境問題は地球規模の広がりを見せ、21世紀は環境の世紀といわれております。かけがえのない地球環境によって育まれてきた人類が生存と繁栄を持続するためには、環境と経済が調和した循環型社会を創造することが何よりも肝要です。

クボタは1890年の創業以来、パイプシステム・素形材・機械・環境施設・住宅機材など、幅広い分野で事業を展開してまいりました。環境保全を事業として推進するだけでなく、環境問題を経営の最重要課題の一つとしてとらえ、1972年の公害管理部の設置にはじまり、1992年にはクボタ地球環境憲章を制定いたしました。加えて全社環境方針、重点推進事項の策定、地球環境委員会の設置など、活動の強化、充実を図っております。

当社は、5つの重点活動方針「環境調和製品と技術の提供」、「省エネ・省資源」、「ゼロ・エミッション化」、「地域環境・作業環境改善」、「環境管理力向上」を掲げ、事業を推進致しております。さらに、こうした活動を通して「化学物質の管理」、「グリーン調達」、「LCA、製品アセスメント」などに取り組むとともに、関連会社を含めたクボタグループ全体の環境マネジメントシステムのレベルアップや環境に関する情報の開示にも注力してまいりたいと存じております。

このたび、昨年度に引き続き、当社の1999年度の環境保全活動等について記載致しました「環境報告書2000」を取りまとめました。皆様方の忌憚のないご意見を賜れば幸いです。



株式会社クボタ 代表取締役社長

土橋 芳邦